



横浜市 長浜ホール「野口英世博士への手紙コンテスト」原稿用紙

学校名 能見台小学校

年 6

組名前 2 寺島 芹 夏

野口英世さん初めました。

約3年前から世界では新型コロナウイルス感染症というものが流行り、そのせいで今までの生活は一変してしまっていています。コロナウイルスは何度も変異をくり返し感染力が強いたため私の周りでも感染者が多く出ています。私はまだ幸いにも感染していません。ですが、感染予防のため毎日外出後に手洗いうがいを必ずして、いて本当は友人とも遊びたいのですがあまり自由に遊べていません。今、世界ではワクチンの開発も進み感染を防ごうとして、いるのですが、感染者数は増える一方でコロナウイルス用の治療薬もまだ開発されていません。野口英世さんは黄熱病や梅毒について研究されていていましたよ。現在もコロナウイルスの方々は野口英世さんのように立派な研究者だと思おうので、コロナウイルスの治療薬ができて一日でも早く元の生活に戻れる事を願っています。そして私も将来医学に関係のある仕事に就きたいです。

46 事に就きたいです。